

第5回国際伝統医薬シンポジウム・富山（1996）

プログラム

11月7日（木）「第5回国際伝統医薬シンポジウム・富山（1996）」（1日目）

（35分発表：5分討論）

13：00～13：20 開会の挨拶

本田 昂（富山医科薬科大学 副学長）

（文部省）

中沖 豊（富山県知事）

難波恒雄（実行委員長）

中国医薬に関する発表・討論

13：20～14：00 座長：済木育夫

演者：徐 強（中国薬科大学）

演題：肝炎の漢方療法及び新薬研究の新しい試み

14：00～14：40 座長：服部征雄

演者：谿 忠人（住友金属工業ハイクオリティライフ研究所）

演題：漢方薬の知（観客知の経験知）

14：40～14：50 休憩

14：50～15：30 座長：難波恒雄

演者：池上正治（伝統医学ジャーナリスト）

演題：弥生にかけた虹の橋 —徐福伝説を日・中・韓に見る—

ウイグル医薬に関する発表・討論

15：30～16：10 座長：小松かつ子

演者：瑪麗亜 沙克木（新疆医学院）

演題：ウイグル族の伝統医学

モンゴル医薬に関する発表・討論

16：10～16：50 座長：御影雅幸

演者：Sharav Bold（モンゴル厚生省）

演題：モンゴル伝統医薬の現状とその将来計画

16：50～17：30 総合討論

座長：済木育夫

小松かつ子

11月8日（金）「第5回国際伝統医薬シンポジウム・富山（1996）」（2日目）

アーユルヴェーダに関する発表・討論

9：00～9：40 座長：難波恒雄

演者：クリシュナ U.K.（東洋伝承医学研究所）

演題：日本の伝統におけるアーユルヴェーダ

9：40～10：20 座長：田澤賢次

演者：稲村晃江（アーユルヴェーダ医師）

演題：浣腸療法のヴァータ性疾患に関する効果と体組織への影響

10：20～10：30 休憩

10：30～11：00 座長：松本欣三

演者：H.S.Sharma（グジャラート・アーユルヴェーダ大学）

演題：インドにおけるアーユルヴェーダの現状と臨床応用

11：10～11：50 座長：渡辺裕司

演者：Nguyen Thi Bay（ベトナム医科薬科大学）

演題：ベトナム伝統薬の最近の発展

11：50～12：30 座長：倉石 泰

演者：Fred J. Evans（ロンドン大学）

演題：英国におけるインド大麻による末梢痛治療の臨床的試み

12：30～13：30 昼食

13：30～14：10 座長：濟木育夫

演者：Sein Winn（ミャンマー伝統医薬研究所）

演題：ミャンマーの伝統医薬の現状

南米及びアフリカの伝承医学等に関する発表・討論

14：10～14：50 座長：横沢隆子

演者：高野昭人（昭和薬科大学）

演題：ブラジル・ベレン市場の薬用植物

14：50～15：30 座長：服部征雄

演者：Olga Lock de Ugaz（ペルーカトリック大学）

演題：インカから今日までのペルー伝統医薬の概説

15：30～15：40 休憩

15：40～16：20 座長：門田重利

演者：加藤 篤（神戸薬科大学）

演題：アフリカ伝承薬物に生理活性物質を求めて

16：20～17：00 座長：三川 潮

演者：大東 肇（京都大学農学部）

演題：熱帯林の薬用資源を探る：チンパンジーの行動とアフリカの民族薬を接点に

17：00～17：45 総合討論

座長：渡辺裕司

難波恒雄

服部征雄